

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	両大腿部頸部骨折後、保存的治療にて立位困難。認知症があり、ベットからの転落が考えられるためベット柵を使用している。	身体拘束廃止に向け、取り組む。	環境改善に取り組むことにより、職員の意識の向上を図る。 身体拘束廃止に向け、ご家族へ説明を行い理解と協力を得ながらアセスメントを実施し、廃止に向けての方法を検討(リスクの検討)し実践していく。	6ヶ月
2	35	利用者が安全に避難できる方法を全スタッフが身につけるとともに、地域との協力体制を整備する。	災害時の安全を確保する為の取り組みを行う。	スタッフに対し随時、緊急対応が行えるよう訓練していく。運営推進会議メンバーの訓練への参加依頼。自治会長を通じ、施設と地域との協力体制を模索する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。